

## ○幼稚園笑話

一、食事になつた南の藤棚を洩れて秋の日ざしが穏かに流れ入つて  
室は愈々明るい。先生も子供ものんびりした心持で樂しく箸を運んで  
ある。と眞中の机の隅から頗るやうな聲が起つた。「前かけべんと  
う〜」見ると絃さんが立上つて一郎さんのエプロンの御飯粒を指  
さしてゐる。皆一時に笑つた。續いてあちこちから起る「机べんとう」  
「椅子べんとう」

二、同じく食事、西洋人形みたいな綾子さんは組での愛嬌者をいし  
さうなパンをいくつかお皿にのせてに〜〜してゐたがやがてその  
一つを一寸かぢると同時にパンを持った右手高くあげて、「パンのは  
げあたま〜」

三、雨が降つて外へ出られない。交る〜〜恨めしさうにガラス越し

に可愛い〜顔のぞかせては空を見てゐる。やがて元氣者の四五人が電車遊をはじめた廊下へ椅子を並べて花子さんや雪子さんやお客様をうんとのせて車掌もきまり切符も出来て汽笛も汽車の音も口で

大正九年十一月十二日印刷  
大正九年十一月十五日發行

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

### 購讀申込

### 本誌定價

一冊(郵税共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢  
十二冊 前金 參 圓  
(郵券代用壹割増)

編輯兼發行者 黒瀬 肇  
東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印 刷 者 柴山則  
東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印 刷 所 杏林  
舍

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會